



教育厚生委員会「子ども・子育て」



産業建設委員会「林業振興」

テーマごとに

市民と熱く語る

「市民と議会との語る会」を開催

8年目を迎えた市民と議会との語る会は、より内容を深めたいという議会活性化特別委員会での議論を踏まえ、常任委員会ごとにテーマを設定し、対象団体を絞って開催しました。総務「新庁舎とまちづくり」「教育厚生」「子ども・子育て」「産業建設」「農業振興・林業振興」今回、語る会を各テーマごとに開催したことで、現在抱える問題点の把握につながったり、団体としてのまとまった意見が出てくるなど、より具体的な話し合いとなりました。



総務委員会「新庁舎とまちづくり」

本号の主な内容

- 2～3面 ◆ 5人が代表質問 ◆ 予算・条例審査
- 4～5面 ◆ 9人が一般質問 ◆ 視察報告など
- 6面 ◆ 議案等の審議結果など

12月定例会の概要

平成26年第6回越前市議会定例会は、11月27日から12月19日までの23日間にわたって開かれました。

この定例会では、本年度一般会計補正予算案(3億3540万円)など8件、「就学前教育・保育施設設置及び管理条例の制定案」など4件、指定管理者の指定に関する一般議案10件のうち9件、委託に関する基本協定の変更議案1件、専決承認案1件を、いずれも可決・承認し、「労働福祉会館の指定管理者の指定」の議案は閉会中の継続審査とし、平成25年度各会計決算案8件を認定・可決しました。また、「子どもの医療費助成制度の窓口無料化について」等の請願3件を継続審査としました。

▼6面▶▶12月定例会審議結果

3月議会は、2月23日(月)から開会予定

議会中継をインターネットで見よう

本会議の録画映像が、見たい時にいつでも議員ごとに見ることができます。

議会中継をご覧になるときは、市のホームページから入って次の手順でアクセスしてください。

- ①越前市議会をクリック
- ②インターネット議会中継をクリック

①クリック



②クリック



越前市議会 インターネット中継 検索

12月定例会 代表質問

市民ネットワーク



三田村 輝士

■人口維持・定住化に向けた将来展望を

問 人口を維持・増加させるには、学びの場・働く場・住環境が整備され、出会い・結婚・出産・子育て等と切れ目のない支援が必要である。また、観光客を呼び込む戦略などの横断的な対策も全庁挙げて取り組むとともに企業等とも連携して政策目標を設定した計画を策定すべきと考えるがどうか。

答 将来展望を示す越前市人口ビジョン並びに平成31年度までの目標や基本的方向性、施策の体系を示す越前市総合戦略を平成27年度に策定する。

■新制度で保育料等に変更はないか

問 子ども・子育て支援事業計画等において、保育の質の低下を招くおそれのある小規模保育や家庭的保育については、認可しないことを明確に示すべきではないか。また、認定こども園への移行に伴って事業所の事務負担増や利用者の保育料増はないか。

答 現在の保育施設で保育ニーズが確保できるため、小規模保育や家庭的保育などの実施は見込んでおらず、認可する予定もない。認定こども園移行により生じる法人の保育料徴収等の事務負担は、市が受託するなど支援策を検討している。また、移行に伴って保育料が上がることはない。

他の質問項目

魅力ある都市基盤の整備、活力ある産業経済の振興、安心して学べる教育環境の整備、安心して暮らせる地域社会の実現、職員体制の充実

フォーラム未来



中西 眞三

■庁舎改築に向けて、もっと夢を語るべき

問 本庁舎と総合支所の改築に向けて2つの検討委員会が開催されている。将来の拠点づくりを考える夢のある委員会などに夢を語っていない。その原因はどこにあるか。まちづくりの拠点をどのように生かしていくのか。

答 検討委員会では、新庁舎の建設を「まちの活性化」や「まち空間再生」の大きな契機とするため、課題等を議論して平成27年夏ごろをめどに基本構想、基本計画の素案を取りまとめている。

■障がい者が安心して暮らせるまち「越前市」をPRせよ

問 雇用と労働力を確保し、全国トップクラスの本市の福祉政策を生かして、障がい者とその家族が安心して暮らせるまち「越前市」として全国的にアピールすることで、越前市内への定住促進が図れないか。

答 市では、本年度策定する市障がい者計画の中でも「ともに理解し、安心して暮らせるまちづくり」を掲げ、障がいのある人もない人も、個性を認め合い、ともに理解し、安心して暮らせるまちづくりや定住化促進を進めている。

他の質問項目

自治振興会、自主防災組織、北陸新幹線、特別警戒区域、広域農道の消雪設備、鳥獣害対策、生活困窮者、いじめ・不登校、福井国体、国民健康保険、人材育成、伝統工芸産業

誠和会・公明党



川崎 俊之

■防災行動計画(タイムライン)を策定すべき

問 本市においても、近年豪雨災害が発生していることから、市民を守る対策として、防災行動計画(タイムライン)が必要ではないか。

答 タイムラインは、台風による大規模水害など予測できる災害に対して、政府や自治体・交通機関・企業・住民などが災害発生前から発生後まで、時間ごとにあらかじめ対応を明確にしておく行動計画のことである。本市としてはタイムラインに関わる関係機関や防災行動が多岐にわたることから、時間軸の設定や対応の実施などについて、さらに検討・調整が必要であるため、国の動向を注視していく。

■有害鳥獣の焼却処分について支援の拡充を

問 イノシシ捕獲後の山への埋設は多くの問題を抱えており限界にきている。イノシシ・シカ等の獣類を焼却できる施設を持つ民間企業と市が単価契約を締結し、その焼却料に対して補助する制度を確立すべきではないか。

答 イノシシの処分については、埋設場所の確保が難しく、現行の助成金では不足であるとの声を多数聞いている。住民の負担軽減を図るため、焼却処分に対する支援制度の拡充について検討していく。

他の質問項目

農地集積と中山間地域の農業振興、人口減少対策、部活動の外部指導者、危険ドラッグ等の指導体制、北陸新幹線

政新会



安立 里美

■武生中央公園の桜の木を伐採した理由は

問 市は9月に桜の木13本を含む32本の街路樹を1本残らず伐採した。大半の樹木に倒木の恐れがあり、事故や災害を未然に防ぐため、これらの老木を伐採したと市当局は説明しているが、ほとんどの切り株は老木とは言えない状態であり、樹木医のいない状況での伐採であった。このような大きな決断がどのようにされたのか。

答 道路交通における危険回避を図るため、武生中央公園の再整備基本計画において、歩行者等の視線に配慮し、高さの異なる樹木により、柔らかな遮へい位置を講じる計画であったことから、伐採を行った。

■定員適正化計画を策定し、部門ごと

問 大量退職時代を迎えることにより、職員の年齢構成が大きく変わってくる。自治体においては、一定規模の行政組織における各部門別に標準的な職員数が定められ、それを積み上げたものが、自治体の適正な職員数とされている。現在の職員状況を踏まえた上で「定員適正化計画」を策定すべきではないか。

答 毎年、総務部においてすべての部課長と協議を重ね、適正配置の積み上げを行うとともに、副市長を会長とする庁内組織改革検討委員会を開催し、適宜機構の見直しを行っている。

他の質問項目

越前市総合計画、行財政構造改革、元気な産業づくり、農業の振興、第6期高齢者福祉保健計画・介護保険計画

日本共産党議員団



前田 修二

■「子育て支援新制度」で保育料軽減はあるか

問 平成27年度からの「子ども・子育て支援新制度」の実施では、保育に格差を持ち込まず、現行基準の維持とさらなる拡充を図り、保育料の保護者負担を軽減し、すべての子どもが希望する保育園に入所できるよう措置すべきではないか。

答 入園については、現行に比べ、より弾力的に取り扱われるが、希望の保育園への入所は個別の事情をしっかりと把握して適切に対応していきたい。保育料やその軽減措置は、今までどおり子育て世帯を支援して、現行水準の維持・拡充に努める。

■来年度からの介護保険料増について市はどう対応するか

問 要支援1・2の人の通所介護・訪問介護サービスの切り捨てを行わず、現行水準の確保に市は責任を持てるのか。介護保険料は、現在の基準額月5190円から月6000円へ引き上げる計画だが、高齢者の負担が重いので、市は軽減策を図れないか。

答 市民サービスの低下が生じないよう事業内容を多方面から検討し、慎重に進める必要がある。保険料は、要介護認定者の増加等、自然増だけでも大幅な引き上げが見込まれるが、引き上げを抑えるために一般会計からの繰り入れ等は考えていない。

他の質問項目

アベノミクスの評価、子ども医療費、窓口手数料・施設使用料等、水道料金、国民健康保険税、介護保険制度

代表質問は、当初予算の編成を前に、各会派の政策提言・意見が反映できるよう12月定例会に実施していきます。今回は5人の会派を代表して5人の議員が質問を行いました。その主な内容は次のとおりです。
なお、詳細及び他の質問については、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。

総額4億5,484万円の補正予算を可決

(単位：千円)

	補正前	補正額	補正後	伸び率(%)
一般会計	33,249,200	335,400	33,584,600	1.0
特別会計	20,059,944	107,065	20,167,009	0.5
企業会計	2,860,268	12,381	2,872,649	0.4
合計	56,169,412	454,846	56,624,258	0.8

12月定例会

議案審議

予算審議

産業環境部の移転に伴う委託料等

1578万円

問 第2庁舎(旧図書館)の解体工事に伴い産業環境部がセンチュリープラザへ移転すると聞いているが、その場所を選定した理由は何か。

答 本庁舎に近く、産業環境部全体が1か所での入居できるよう、ある程度の面積が必要と考え、センチュリープラザ2階を選定した。

問 移転先の駐輪場や駐車場の確保、市民に対する案内看板の掲示等は、どのように考えているか。

答 駐輪場等の確保や市民への周知については、借地料やテナント料も含めて平成27年度の当初予算の中で対応していく。



平成27年4月から産業環境部が武生駅前のセンチュリープラザ2階に移転します

新庁舎建設に伴う解体撤去工事等

3732万円

問 第2庁舎の解体場所周辺は、武生東小学校の通学路でもあり、庁舎には市民がたくさん訪れると思うが、安全管理対策をどのように考えているか。

答 安全管理対策を含めて、騒音・振動・粉じん等さまざまなことを考慮し、万全を期して対応する。

出かける絵本館事業

300万円

問 子どもたちへの絵本の読み聞かせは、保育園等の保育士のほうが、年々も入って

いて上手だと思いが、読み聞かせはどういった方を考えているか。

答 読み聞かせは、かこさとし氏の作品をはじめとして、絵本をよく熟知している絵本館の職員を考えている。絵本館の職員が読み聞かせを行うことで、聞く力・言葉からの想像力育成など、より一層効果が上がるものと期待している。

問 仁愛大学子ども教育学科の学生も、保育園や幼稚園の子どもの絵本の読み聞かせを行っており、大変評判も良いと聞いているが、出かける絵本館事業との連携についてどう考えるか。

答 平成26年8月から地域貢献活動支援補助事業として、仁愛大学の学生が保育園や幼稚園を訪問して読み聞かせを行っている。こうした学生の活動やボランティアの方々とも連携をとりながら、今後出かける絵本館をはじめ、さまざまな事業に取り組みしていきたい。

問 寄附者のかこさとし氏の思いをしつかり受け取って、絵本館前の通りを「絵本館通り」にするとか、子ども連れの親子が散歩するときに絵本に関連した通りに整備するといった市民アイデアがあることに対して、どのように考えているか。

答 現在、ボランティアの協力を得て絵本館の玄関先に、四季を通じて花を絶やさないような花の飾り付けを行っている。絵本に関連した整備等については、今後とも多くの人から親しまれる絵本館づくりを目指してその発展に努める。



全国からファンが訪れるかこさとしふるさと絵本館「研」(平成26年12月23日 4万人達成)

一般議案審議

11施設の指定管理者の指定について

問 今回の指定管理者の指定に当たり、6施設が公募で、残りの5施設が非公募となっている。公募と非公募の違いは何か。

答 指定管理者の指定は、本来公募が原則であるが、非公募とした5施設は、①利用者が地域住民であること、②地域密着型で運営している施設であること、③これまでに指定管理者としての実績が十分あること等を考慮して、指定管理者選定委員会での非公募を決定したものである。

問 平成22年の行政監査の指摘では、地域と密着した施設については、地元への移管も検討すべき点があるが、その点についてはどう認識しているか。

答 こうした地域密着型施設については、監査の指摘も踏まえて、委託期間を3年間と設定する中で、地域への移管など今後のあり方を検討していきたい。

問 指定管理者を選定する評価委員は、どういった観点で評価をされているのか。

答 ①まず、評価委員は現地確認を行う。②現地の指定管理者職員や所管課職員から聞き取り調査を行う。③収支報告書等の提出書類を確認する。④最後に、事務局から評価の留意点を聞いた上で、適正な評価を行っている。

問 指定管理施設11施設のうち、8施設が60点台、3施設が70点台となっている。合格ラインは、評価項目1項目につきそれぞれ50点以上という説明だが、施設の管理運営の先行きを考えると、50点というのは非常に不安になるが、その辺はどう考えているか。

答 評価項目5項目のうち、どれか1項目でも5割を下回れば失格ということであって、全体で50点以上が合格ということではない。行政が直営で行うよりは、より効率的であり、安く市民サービスを提供できるのであれば、指定管理者に委託したほうが良いと思う。市としては、本来期待されるサービスの提供や施設の維持管理等を確認した上で、適切に指定管理者の指定を行っている。

武生駅東駐車場の指定管理者の指定に関する議案は、賛成多数で可決



武生駅東駐車場(収容台数約100台)

武生駅東駐車場の指定管理者の指定に関する議案は、本会議での質疑の後、産業建設委員会に付託されました。委員審査では、今後十分な精査が必要であることから閉会中の継続審査とされたいとの動議が提出されましたが否決され、起立採決の結果、賛成多数で可決しました。本会議最終日(12月19日)に委員長報告がなされ、その後、反対討論・賛成討論が行われ、採決の結果、本会議において賛成多数で可決しました。

反対討論(要旨) 安立里美 議員

本議案に反対する理由は、①設立準備会社を指定管理者にしても法的に問題は無いとの説明だが、準備段階にある団体に公共施設の管理を任せていいのか疑問である。②選定委員会において、1名の委員が準備会社の採点を辞退され、もう一方の団体のみ採点した結果、平均点の差が0.3点という僅差となったことは、公平性を欠いた評価と考える。③まちづくり会社への市の出資額、出資割合等は3月議会で審議されると聞いていた中で、設立準備会社に管理代行させるということは議会軽視と考える。以上のことから、この改正案に反対する。

賛成討論(要旨) 川崎俊之 議員

本議案に賛成する理由は、①有識者で構成する選定委員会の審査の結果、適正な評価方法でまちづくり会社設立準備会社が選定されたものと考える。②任意組織である準備会社が応募できるかという点については、募集要項において法人格の有無は問わないと規定されているので適正と考える。③1名の委員が1団体の評価を辞退したことについては、選定委員会の議論の結果、了承され、残り4名の委員の平均をとることを全会一致で確認し選定された結果であることから、評価は適正に行われたものと理解できる。以上のことから、この改正案に賛成する。



平成26年度奨学金実績(貸付人数17人)



新庁舎建設について検討委員会で議論(平成26年11月)

12月定例会 一般質問

12月定例会では、9人の議員が12月8日～9日の2日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から1人1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約して掲載しました。

なお、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

<http://www.city.echizen.lg.jp/office/110/010/kaigirokukennsaku.html>

※一般質問：議員が行政全般にわたり、市長等の理事者に対し、事務の執行状況や将来の方針等について説明を求め、疑問点をただすために行う質問のことをいいます。

人事

職員数の適正管理に努めよ

政 新 会 城戸 茂夫

問 合併時の職員数約740人を10年で100人減らすという大きな目標があったと思うが、現在は600人体制となっている。600人という数字は何が根拠か。

答 本市では平成19年度に国の目標を上回る10%以上の職員削減目標を設定した。さらに、その後の定員管理で、事務事業の簡素化・集約化を見据え、29年度には、合併時より2割削減が可能と判断し、600人体制を目標値とした。

【他の質問項目】

後世に伝えるべき社会的財産／中心市街地活性化



新 庁 舎

新庁舎について市民から意見を幅広く聴取せよ

市民ネットワーク 吉村 美幸

問 「まちづくりは、市民とともに」の視点から、新庁舎改築について自治振興会や地域でさまざまな活動をされている方、またまちづくりに関心のある方の意見をしっかりと反映させる機会がつかれないか。

答 平成27年にパブリックコメントや市民フォーラム、説明会などを開催する予定である。まだ基本計画が固まらない段階で、広く市民のご意見を聴取し、市民検討委員会での議論を丁寧で説明する機会を設ける。

【他の質問項目】

まちなか活性化対策／定住化対策と都市との交流



奨学金制度を拡充せよ

日本共産党議員団 加藤 吉則

問 奨学金制度の要件の1つに「学業成績が良好」とあるが「学業に意欲的」という文言を加えることはできないか。また、大野市の制度も参考に給付制の奨学金制度を創設できないか。

答 奨学金を貸与する選考過程において、客観的に判断できる一定の学力水準は必要と考える。現在、大学卒業後に市内に居住することを条件に、償還免除の対象を拡充することを検討している。

【他の質問項目】

市有文化財の管理体制／越前国府関連の文化財



特別委員会の視察報告

原子力防災等・再生可能エネルギー対策特別委員会

9月29日～30日

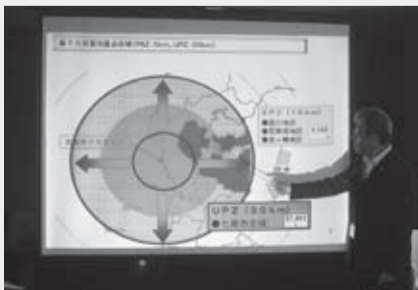
●石川県小松市、能美市、七尾市

原子力防災計画、避難マニュアル等

●北陸電力(株)志賀原子力発電所

施設の概要、安全の取り組み

原子力災害発生時の広域避難等を調査研究するため、小松市と能美市、七尾市及び志賀原発を視察しました。視察では、敦賀半島において原子力災害が発生した場合の広域避難先自治体までの避難経路や所要時間を体感することも、避難施設の設備や周辺の居住環境を視察しました。また、越前市民の受入れ環境や地域防災に対する対応等について意見交換を行いました。



志賀原発から30キロ圏内にある七尾市を視察

北陸新幹線・新庁舎建設対策特別委員会

11月4日～5日

●福岡県飯塚市 新庁舎建設について

●福岡県筑後市 新幹線駅周辺整備について

新庁舎位置を合併時の予定地から現在地に変更する飯塚市は、当初の予定地から反対があったが、市長や市幹部職員が真摯な説明に尽力され現在地に建設することで住民の理解を得ていた。

また、九州新幹線

筑後船小屋駅は、駅を取り巻く広大な農村公園や駅に併設するレストラン、体育館等が県営で建設され、集客効果は抜群であった。駅隣にソフトバンクの新球場建設も予定され、今後ますます利用度や集客力アップが期待されている。



広大な農村公園が隣接する筑後船小屋駅を視察



嶺南地域有害鳥獣処理・加工施設
(年間約7500頭が処理される)



平成26年6月に誕生したコウノトリの幼鳥3羽
(げんきくん、ゆうきくん、ゆめちゃん)



まちづくりセンター
(平成26年10月から地域おこし協力隊2名が加わった)

農

業

商工業支援

鹿被害拡大に向けて対策を講じるべき
市民ネットワーク 小玉 俊一

問 嶺南の地域有害鳥獣処理・加工施設における25年度の鹿の処理数は、イノシシの約2倍あると聞いているが、嶺北への鹿移動の予想と今後の対策はどう考えているか。

答 嶺北における鹿の生息密度も上昇傾向にあると言われており、越前市でも鹿による被害は徐々に拡大している。鹿の捕獲は、26年度から新たにくりわなによる捕獲を実施して、強化を図っている。

【他の質問項目】 今立地区の下水道水洗化率／森林整備

コウノトリ飼育に関する市の役割を示せ
市民ネットワーク 霜 実男

問 現在、白山地区で行っているコウノトリの飼育は、県主導で進められているが、市の役割はどのようになっているか。

答 この事業への市の関わり方については、飼育補助として市職員2名が従事することともに、放鳥後の野外定着に向けて里地里山の保全再生や、環境調和型農業の推進を行う。また、放鳥後の餌資源を確保するために、ビオトープの整備などに努めている。

【他の質問項目】 コウノトリ事業の今後

厳しい農業経営を市はどう考えるか
誠和会・公明党 大久保健一

問 米価の下落・天候不良による減収・米の直接支払交付金の半減などの厳しい状況について、市はどう考えているか。

答 国は、米の販売収入が標準収入を下回った場合の差額を補てんする収入減少緩和策を検討しているが、国の支援制度が認定農家・集落営農等に限定されることから、市は担い手への農地集積を進め、麦・大豆等の水田フル活用、園芸作物の複合経営を推進する。

【他の質問項目】 認定農家の認定基準／グリーンツーリズムの取り組み

産業活性化による定住化促進対策を図れ
市民ネットワーク 吉田 啓三

問 現在、大手企業を中心に雇用が生まれている。企業からの求人数は多いが、募集してもなかなか人が集まらない現状に対して、市はどのような方策を考えているか。

答 12月補正予算に雇用促進対策費を計上して、県内の製造品出荷額を誇る本市での就労と、生活に関する支援策や本市の魅力などをセットにした効果的な情報発信を行い、働き手の流入を促進していく。

【他の質問項目】 広域農道の融雪整備／空き家対策

事業者支援の抜本的な対策を示せ
諸 派 片粕正二郎

問 まちづくりセンターを設置し、中心市街地活性化を推進しているが、まちなかの集客回復にはつながっていないと思う。商業の支援策について、市はどう考えるか。

答 これまで商業者にさまざまな支援策を講じてきたが、後継者不足等により経営が厳しい状況にある。第2期中心市街地活性化基本計画の見直しの中で、現在の支援制度の課題を整理するほか、商業の現状把握等も行いながら、より効果のある支援策を検討する。

【他の質問項目】 中小企業振興策／人口減少問題



議会を傍聴しよう

3月定例会は、2月23日(月)から開会予定です。

3月定例会日程 会期2月23日(月)～3月20日(金)

- ▼2月23日(月)
本会議(所信表明・提案理由説明)
- ▼2月26日(木)～27日(金)
3月2日(月)～4日(水)
本会議(質疑、一般質問)
- ▼3月6日(金)
9日(月)～13日(金)
各常任委員会

- ▼3月16日(月)
各特別委員会
 - ▼3月20日(金)
本会議(委員長報告、採決)
- ※議事の都合により日程が変更になる場合があります。

11月10日～11日
●三重県四日市市、愛知県名古屋市長市
議会活性化の取り組み
議会活性化に積極的に取り組む四日市市議会と名古屋市長市議会を視察しました。



議会改革に取り組んでいる四日市市議会を視察

議会活性化特別委員会

議案等の名称	議員名	賛 否																審査結果							
		市民ネ					フォーラム				誠和・公明		政新会		共産		諸派								
		吉村美幸	小玉俊一	霜実男	吉田啓三	三田村輝士	佐々木富基	佐々木哲夫	小形善信	中西眞三	伊藤康司	福田往世	大久保健一	清水和明	川崎俊之	前田一博	安立里美		城戸茂夫	川崎悟司	加藤吉則	前田修治	西野与五郎	片粕正二郎	
12月	予 算	平成26年度越前市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成26年度越前市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成26年度越前市下水道特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成26年度越前市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成26年度越前市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成26年度越前市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成26年度越前市水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
月 定 例	決算認定(企業会計利益の処分)	平成25年度越前市一般会計・各特別会計・各企業会計の8案(継続分)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定(可決)	
		越前市職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
会 審 議 果	条 例	越前市国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		越前市就学前教育・保育施設設置及び管理条例の制定について(特別多数議決)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		越前市児童館設置及び管理条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		越前市社会福祉センター及び越前市老人福祉センター今寿苑の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
一 般	議 果	越前市式部ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		越前市労働福祉会館の指定管理者の指定について	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	継続審査	
		越前市行松会館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		越前市池ノ上勤労者スポーツセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		越前市広瀬勤労者研修センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		越前市家久農村婦人の家の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		越前市金華山グリーンランドの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		越前市武生駅東駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	可決	
		越前市ふるさとギャラリー叔羅の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		委託に関する基本協定の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
請 願	専決承認	平成26年度越前市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認		
		政府への農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、農業改革についての意見書提出についての請願	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	継続審査	
		子どもの医療費助成制度の窓口無料化についての請願	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	継続審査	
		敦賀駅での乗換をなくすため、特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書採択のための請願	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	継続審査	

○：賛成 ×：反対 △：継続審査 (注)議長は過半数議決の採決には加わりません。特別多数議決の採決には議長も加わります。

市民ネ：市民ネットワーク フォーラム：フォーラム未来 誠和・公明：誠和会・公明党 共産：日本共産党議員団



家久保育園での保育風景

教育厚生委員会
子ども子育て支援の新制度は平成27年度からスタート

越前市就学前教育・保育施設設置及び管理条例の制定について、委員からは、幼稚園や保育園等の具体的な保育料は、いつごろ示されるのかとたずねられました。理事者からは、現在、保育料に関する国の基準額は、仮の額で示されており、国の新年度の予算編成過程において決定されることになっている。市は、国の基準額が示されてから、その範囲内で保育料を決定することになるとの答弁がなされました。さらに、委員からは就学前教育・保育施設の保育料について、条例で定める必要はないかとたずねられました。

これに対し理事者からは、保育料は、国が政令で定める額を上限として自治体が定めることとされており、本条例に保育料の条項を設けた上で、具体的な金額については、国の基準額の範囲内で規則において定めることとしているとの答弁がなされました。

委員会報告

議案を審査するため、常任委員会を開催しました。掲載記事は委員長報告の主な内容です。



労働福祉会館(中央二丁目)

産業建設委員会
労働福祉会館の指定管理者の指定は、閉会中の継続審査

労働福祉会館の指定管理者の指定について、委員からは、労働福祉会館の2階を使用している2団体との契約関係についてたずねられました。

理事者からは、労働福祉会館を建て替える際、従前の建物の出資関係による話し合いの中で、越前市と2団体との間で無償貸借の契約を結んでおり、光熱水道費等についても、越前市が負担しているとの答弁がなされました。

また、委員からは、他の指定管理対象施設と比較し、委託料が高い点についてたずねられました。

これに対し、理事者からは、他の施設は、地域密着型の施設が多く、管理費相当額についても、率仕的な形で金額でお願いができています。当該施設の雇用形態において、夜間は実際に使用される日数での雇用とするなど工夫をしており、必ずしも高い経費ではないと考えているとの答弁がなされました。

重ねて委員から、契約内容について精査が不十分な点があり、適正に指定管理をしよう上において、閉会中の継続審査とされたいとの動議が出されました。採決の結果、当議案については、閉会中の継続審査とすることに決まりました。

議会だより編集委員会

委員長 佐々木哲夫
 副委員長 加藤吉則
 委員 清水和明
 委員 吉村美幸
 委員 城戸茂夫

市議会事務局
 TEL (22) 3426

あなたにも、マイナンバー。はじまります。



※マイナンバー制度とは、複数機関の個人情報を同一人物の情報であることを確認を行うため、国民全員に個人番号を割り当てる制度です。

総務委員会
マイナンバー制度は平成27年10月からスタート

広域電算事業に関し、委員から、社会保障・税番号制度、通称マイナンバー制の導入についてたずねられました。

理事者からは、社会保障・税番号制度については、昨年5月に法案が制定し、平成27年10月から国民一人一人に個人番号が通知されることとなった。翌平成28年の1月から個人番号の利用が開始され、同時に本人の申請により、個人番号カードを発行する予定となっているとの答弁がなされました。

さらに、委員からは、番号制導入の有益性についてたずねられました。

理事者からは、導入の1番の目的は国民の利便性の向上や行政事務の効率化である。制度導入後は、各種手続きに必要であった証明書等が不要となり、金銭的、時間的コストが節約できるといったメリットがあるとの答弁がなされました。

